

浜松河川国道事務所の道路事業概要について

国土交通省 中部地方整備局
浜松河川国道事務所長 白井 宏明



大代ICの改良工事を推進しています。

国道1号浜松バイパス(長鶴～中田島)

浜松バイパスでは、信号が連坦し、交通容量を大幅に超過している長鶴交差点から中田島砂丘入口交差点までの6.4km区間の「立体化及び現道拡幅」整備に向けて、関係機関協議や調査設計を推進しています。

三遠南信自動車道

三遠南信自動車道は、長野県飯田市(飯田山本

はじめに

日本有数の製造業集積地として発展を続けてきた静岡県西部地域において、国土交通省浜松河川国道事務所は「ものづくり」を支える道路整備や治水関連事業など、地域の発展と住民の安全・安心な暮らしの確保を目指して事業を推進しています。

道路改築事業

国道1号は、静岡県西部の東西軸交通を担う重要な道路ですが、一部の区間では朝夕のピーク時間帯において渋滞が発生し、地域生活および経済活動に支障を来すとともに、沿道環境

が悪化するなど様々な課題を抱えています。

これら課題の対応策として、交通渋滞の解消、物流の効率化、交通安全性の向上や沿道環境の改善を目的に、現在、2つの改築事業と交通安全事業を推進しています。

国道1号島田金谷バイパス

島田金谷バイパスでは、大井川の渡河部(新大井川橋)を含む旗指ICから大代IC間において、令和7年3月7日に4車線化開通し、開通区間の所要時間が約11分短縮するなどの整備効果があらわれています。引き続き、

IC)から浜松市浜名区引佐町(浜松引佐JCT)に至る約100kmの高規格道路です。

中央自動車道、新東名高速道路との接続により、南北の交通網強化が図られることで、三河・遠州・南信州地域の連携強化や、災害に強い道路網の構築、地域医療サービスの向上などの効果が期待されるところです。

現在、当事務所の担当区間では、2つの改築事業を推進しています。

佐久間道路・三遠道路

佐久間道路・三遠道路では、現在までに27.9kmのうち、20.8kmが開



国道1号 島田金谷バイパス（新大井川橋）
藤枝市方面を望む

通しており、引き続き、残る約7.1km区間については、令和7年度開通に向けて工事を推進しています。

水窪佐久間道路

水窪佐久間道路は、平成31年度に事業化した14.0kmの事業であり、調査設計等を推進しています。

浜松湖西豊橋道路

東名高速道路三ヶ日JCTと三河港とを結ぶ浜松湖西豊橋道路は、都市計画及び環境影響評価手続きを行っており、それに関連する調査を推進して

います。

道路管理・交通対策事業

国道1号の静岡県島田市～愛知県境の管理延長75.7km及び三遠南信自動車道（国道474号のうち管理延長20.8kmの区間において、維持管理を行うとともに、橋梁等の各種構造物の長寿命化・老朽化対策、安全で快適な歩行空間の確保並びに災害時における緊急輸送道路の確保や、交通事故の減少を図るため交差点改良等を実施しています。

おわりに

浜松河川国道事務所では、地域の未来を見据えたインフラ整備を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することを目指しています。道路は単なる移動の手段ではなく、人々の暮らしや経済活動を支える「命の道」であり、災害時には命を守る「防災の道」としての役割も担います。今後も、地域の皆様との連携を深めながら、安全で快適な道路環境の整備に取り組んでまいります。



三遠道路（新城地区）
飯田市方面を望む



三遠道路（東栄IC）
飯田市方面を望む